

大分県版児童生徒支援シート
様式1 フェイスシート

記載者(広瀬 淡男) 記載年月日(平成31年 1月20日)

児童・生徒	学校名	宗麟中学校	学年学級	1年1組	担任	福沢 ゆきお	
ふりがな	おおいた はなこ						
氏名	大分 花子	性別	男(女)	生年月日	平成17年5月5日	年齢	13歳
住所	(〒〇〇〇-〇〇〇〇) △△市〇〇 〇番地		連絡先(電話)	母:090-〇〇〇〇-△△△△			

主訴 不登校 いじめ 特別支援 問題行動 経済的困窮 心的要因 その他()

家族構成(ジェノグラム)		健康面		■障がい(知的)・身体・発達・その他()			
		<input type="checkbox"/> 慢性疾患:アレルギー等() <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良の訴え(頭痛、腹痛)・なし					
		手帳		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 療育(B2) <input type="checkbox"/> 身障者() <input type="checkbox"/> 精神()			
		病院受診		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし H23年1月～ 病院名:●■療育センター Dr:宇治山Dr		服薬 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 薬名:	
		本人のストレングス好きなこと趣味・特技等		絵を描くこと、手芸、料理、お菓子作り、 ジャニーズのアイドルが好き			

今年度欠席状況										過年度の欠席状況(不登校等の期間を← →)													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
0	0	0	0	0	1	1	3	3	10			←											

子どもの学校生活の状況		家族・親子関係及び家庭生活の状況	
学習意欲: 高・中(低) 学習理解: 良好(不良) 学習態度(良好)・不良 ・学習の理解が低く、苦手。 ・課題等の提出は良好だが、自学ノートに時間がかかると訴えあり。 ・運動は苦手。 ・人前で発表することが苦手。	生活面 仲のよい友だち(あり)・なし 集団参加(可)・不可 友だちとのトラブル(あり)・なし ・12月にクラスの男子にからかわれたことをきっかけに教室に入ることを嫌がるようになった。(トラブルは解決済) ・クラスの弥生子とは小学校の時から仲がよいが他は特に仲がよい生徒がいない。	家族関係(良好)・不良() 睡眠: 良好(不良)・昼夜逆転 食欲: 良好(不良)・偏食 ・家族の仲はよい。 ・母は第3子を妊娠中で12月から入院しており、家事を花子が担っている状態。 ・父は仕事が忙しく、帰りが遅い。 ・友だちとのトラブル以降、夜になると泣いてしまう。食欲も落ちている。	

本人の困り・願い	家庭(保護者)の困り・願い	学校の困り・願い
・教室に入るのが怖い。 ・母に早く戻ってほしい。	・母が入院し、父の帰りが遅いため、花子に負担がかかる。母に会えるのは週末のみ。 ・母が課題を見てくれていたが、現在は一人ですするため時間がかかる。 ・普通学級での教育を望んでいる。	・男子とのトラブルは解消しているが、3学期から登校できなくなった。 ・母の入院以降、家庭との連絡がなかなかつかない。 ・家庭訪問すれば花子には会える。

アセスメント(本人)	アセスメント(家庭)	アセスメント(学校・関係機関)
・12月のトラブルと、母の入院が重なり不安が強くなっていると思われる。妹の面倒もあり、父にも甘えられない。花子自身が安心して気持ちを話せる存在が必要か。	・母の入院で家庭の機能が崩れてしまっている。父は厳格なタイプで、思春期の花子とは距離があるか。まずは、家事の負担を減らすことを検討。	・担任、特支Cとの関係は良好であるが、男性であるため、花子がより心を許せる女性の人材が必要か。課題に時間がかかっている様子から、課題の負担も減らすことを検討。

児童・生徒氏名

大分 花子

◇支援目標

長期的な支援目標【□半年(月まで) ■3ヶ月(3月まで)】

本人の家庭での負担を減らし、気持ちを吐き出し安心できる場所を作る。

◇具体的な支援と役割分担【□3ヶ月 □2ヶ月 ■1ヶ月 □2週間 □1週間】

短期的な支援目標 (何を)	担当者(誰が)	具体的な方法・役割 (誰・どこに対して、どんなふう)	評価
本人の気持ちの聴き取り	養護教諭 朝倉 SC 福田	(朝倉) 本人の気持ちをゆっくり聴き、SCに繋ぐ。 (福田) 本人との関係を作り、ゆっくり気持ちを聴き取る。	○ SCに繋がった 継続
課題の調整	担任 福沢	当面の間自学ノートを中止し、代わりに家の家事を課題として認める。家事の内容は本人と相談して無理のない範囲に収める。	○ 継続
仲間づくり	担任 福沢 特支C 広瀬	(福沢) クラス全員に対して、人間づくりプログラムを活用し、仲間づくりを行いクラスに花子の居場所を作る。 (広瀬) 花子に対してソーシャルスキルトレーニングを行う。	○ 継続
家庭訪問	担任 福沢 朝倉(福田)	担任と一緒に女性の朝倉か福田SCが同行し、家庭でも話を聴く。小学校の三浦先生とも連絡を取り合い、日が重ならないように家庭訪問を行う。	○ 継続
市の子育て支援の利用	SSW 高山	福祉課の黒田さんと連携し、ファミリーサポート、ショートステイ等の利用できる福祉サービスを父親に提案する。	○ 放課後デイサービスの利用予定: 継続
朝の登校時に誘う	担任 福沢 弥生子	登校時に花子宅に寄って誘ってもらうことを弥生子に依頼する。 → SCの来校時のみ、弥生子に登校時誘ってもらう。	△ 弥生子に負担あり 変更

◇人的資源と関係機関 (◎関係が良好 ○普通 △過去に関わりがあったが現在はない ×関係が不良)

校長 大友 ○	教頭 瀧 ○	特別支援学級 生野 ◎	友だち 文夫 辰雄 ×	教育委員会	福祉課 黒田	保健所
SSW 高山 ○	保護者 母◎ 父○	きょうだい 妹 ◎	友だち 弥生子 ◎	放課後 デイサービス 磯崎	児童相談所 赤木 ○	保育所・幼稚園
SC 福田 ○	担任 福沢 ○	教育相談 コーディネーター 前野 ○	養護教諭 朝倉 ◎	病院 母の入院先 のSW 帆足	警察	小学校 妹の担任 三浦 ○
特別支援教育 コーディネーター 広瀬 ◎	学年主任 田能村 ○	部活顧問	生徒指導担当 油屋 ○	療育センター 宇治山Dr	就労支援	中学校
校内資源				校外資源		

成果	・SCに繋がったことで、SCの誘いに応じて登校する日があった。 ・SSWが放課後デイサービスを紹介し、見学に行った。	次回 会議	日時	3月15日	主催者	教育相談コー ディネーター 前野
課題	・課題の軽減で、帰宅後に余裕はできているが、家事の負担は減っていない。・登校時の誘いはSCが来校する日のみに限定し、弥生子の負担を減らす。		参加者	・教頭、前野、福沢、広瀬、朝倉、福田、高山、黒田 ・磯崎さんに依頼 ・不参加の方が出れば、前野が報告する。		